

病院病理部プログラム

【研修内容と到達目標】

病理医の役割を十分に理解し、病理医としての業務が自らの責任において行えるようになるために、各種生検、手術材料の病理診断・細胞診断・病理解剖の指導を受け、且つ自らこれらを行う。兵庫医科大学病院病理部での研修を基本とするが、希望によっては関連病院の病理診断部門において、同等の研修を行うことがある。病理業務の基本的知識・技術を修得して一般病理医としての基盤を築き、初期研修修了後4年での病理専門医資格の取得、細胞診専門医資格の取得を目指す。また、一般病理医としての基盤を築く中で自らの専門領域を持ち、その領域の知識・診断能力を深める。

【レジデント（卒後3～5年目）カリキュラム】

初期研修（選択科）で病理の研修を行わなかった場合には、基本的な病理業務の一般知識や技術について理解することから研修を始める。すでに初期研修（選択科）によりこれらを理解している場合には、各種生検・手術材料の取り扱い、手術材料の切り出しとその病理診断の進め方、各種細胞診材料の診断の進め方について学習し、指導医の下で手術材料の切り出しを行い、病理組織診断・細胞診断を実践するとともに、病理解剖についても経験を積む。また、以下に示す教育関連行事に参加し、臨床各科との術前術後のカンファレンス等では、病理診断に関連する臨床情報を得るとともに、病理医に求められているものは何かということを理解する。また、臨床各科とのカンファレンスにおいて、指導医の下で自らプレゼンテーションを行うことにより、病理医として必要な臨床との接し方を学ぶ。さらに、学会や研究会において症例発表などができるように、また学術雑誌に症例報告などが掲載されるように指導を受ける。病理解剖を自らが主体となって15体以上執刀し、その病理組織の診断・病理解剖報告書の作成・臨床病理カンファレンスでの発表を経験することにより、病理研修開始後2年を目標にして国家認定である死体解剖資格を取得する。

希望に応じて、関連病院の病理診断部門において、同等の研修を行う事がある。また、希望により、夜間大学院生としてのコースを選択する事も可能である。卒後3年目で大学院に入学した場合、専門医資格の取得とほぼ同時に博士号の取得が可能となる。

【レジデントA（卒後3年目）の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、臨床検査部、超音波センター、画像診断部、内視鏡センターのいずれかで、希望により3ヶ月間研修を行うことができる。

【卒後6年目以降のカリキュラム】

病院助教（仮称）・助教などの身分で、レジデント期間において得られた全般的な知識と診断経験をさらに深め、40例以上の病理解剖の執刀を主体的に経験し、また5,000例以上の病理組織診断と1,000例以上の細胞診断を自ら行い、且つ50例以上の術中迅速診断の経験を積む事により、病理研修開始後4年を目標にして病理専門医資格を取得する。また、細胞診断のさらなる研鑽を積んで、同じく病理研修開始後4年を目標にして細胞診専門医の資格を取得する。これら専門医の取得には学会・研究会におけるまたは学術雑誌上での病理組織学的・細胞学的な検討を含む症例報告等の経験が必要であるので、できるだけ多くの発表の機会を持つように努める。レジデント期間を含めて自らの専門領域を持つようにし、関連臨床科との緊密な連携の下に、その領域における専門的な診断業務や基礎的・臨床的研究が行えるように努力する。

専門医取得前の卒後 6 年目に関連病院の病理診断部門において研修を行う事も可能であり、専門医取得後に関連病院において業務に就くコースを選択することもできる。

レジデント期間を含め、病理専門医取得前に夜間大学院生としてのコースを選択でき、専門医取得後に病理業務を継続しながら大学院生として研究に従事することも可能である。

【カンファレンス・症例検討会等】

月曜：抄読会、組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖

泌尿器科病理カンファレンス（毎週）

上部消化管合同カンファレンス（隔週）、大腸癌 Cancer Board（月 1 回）

火曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖

乳腺・病理・放射線合同カンファレンス（毎週）

水曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖

肝生検臨床病理カンファレンス（隔週）、剖検症例臨床病理カンファレンス（毎週）

木曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖

金曜：組織診・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し、術中迅速診断、病理解剖

皮膚臨床・病理カンファレンス（毎週）

土曜：1・3・5 週は組織・細胞診材料の検鏡、手術材料の切り出し

【関連病院】

大阪厚生年金病院、宝塚市立病院、三田市民病院、明和病院、千船病院 等

【指導医】

主任教授： 廣田 誠一（指導責任者）

臨床准教授：塚本 吉胤

准教授： 羽尾 裕之

講 師： 松田 育雄、井出 良浩

助 教： 土田 泰昭

【研修統括者】

主任教授（部長）：廣田 誠一

【問い合わせ先】

廣田 誠一

TEL：0798-45-6667 E-mail：hiros@hyo-med.ac.jp

または

教室秘書（河上）

TEL：0798-45-6667 E-mail：byoribu@hyo-med.ac.jp